

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年4月26日（木）

2 確認箇所

- ・ Fタンクエリア
- ・ 4号機タービン建屋1階

3 確認項目

- (1) 既設多核種除去設備に係る対応
- (2) 5・6号機淡水化装置逆浸透モジュールからの漏えいの対応状況
- (3) 4号機タービン建屋1階における油漏えいの対応状況

4 確認結果の概要

- (1) 既設多核種除去設備に係る対応について

過去に既設多核種除去設備で発生した次の事象について、それぞれの対策の実施状況等を聞き取りし、対策が実施済み又は今後実施される内容を確認した。

ア 鉄共沈処理配管溶接部から堰内への滴下事象について

平成28年10月15日にA系統の鉄共沈処理プロセスにおけるクロスフローフィルター下流の配管溶接部から滴下を確認した事象を受け、B系統及びC系統のラインの放射線透過試験を行い、溶接部の確認を行うとしていたことから、その後の対応状況について聞き取りした。

【聞き取りの内容】

B系統及びC系統のラインの放射線透過試験の結果、いずれの配管にも減肉が確認された。今後、類似箇所も含め、平成30年度中に配管を交換する。

イ 吸着塔14A出口弁から堰内への滴下事象について

平成29年1月11日にA系吸着塔14Aの出口弁のグランド部からの滴下及び下部の漏えい水受け内に溜まり水を確認した事象を受け、その他の弁について、グランドの締め付け状況を確認し、対策を実施していくとしていたことから、対応状況を聞き取りした。

【聞き取りの内容】

その他の弁についてグランドの締め付け状況を確認したところ、一部の弁に緩みが確認されたことから、グランド部の増し締めを実施した。

ウ B系共沈タンクにおけるライニング剥離事象について

平成29年2月にB系統の共沈タンク（B）において、内面のゴムライニングの剥離を確認した事象について、ゴムライニングの剥離の原因

調査を実施していくとのことであったことから、原因調査の結果及び再発防止対策の実施状況について聞き取りした。

【聞き取りの内容】

ゴムライニングの剥離の原因は、経年劣化であったことから、再発防止対策として、ライニング材をより高い耐久性の材質に変更した。現在、共沈タンクを作成中である。

エ ドレン配管から堰内への滴下事象について

平成 29 年 8 月 16 日に A 系統の鉄共沈処理プロセスのドレン弁保温材から滴下を確認した事象について、配管内部のスラリーなどの堆積物が隙間環境となり、隙間腐食が発生したものと推定された。対策として、異常がないことを確認した B 系統の当該部と入れ替え、鉄共沈プロセスの洗浄の際に隙間腐食の要因となる堆積物のフラッシングを実施することであったことから、それらの実施状況を聞き取りした。

【聞き取りの内容】

平成 29 年度中に B 系統の当該部の入れ替えを実施した。再発防止対策として、運転系統のみ 1 ヶ月に 1 回の頻度でフラッシングを実施している。

(2) 5・6号機淡水化装置逆浸透モジュールからの漏えいの対応状況について

平成 30 年 4 月 24 日に淡水化装置逆浸透モジュール 2 A の閉止板近傍より水の滴下が確認された事象について、東京電力の調査の結果、逆浸透膜交換のため、逆浸透モジュール 2 A の閉止板を取り外し、取り付けした際、Oリングにめくれ又はゴミ噛みがあり、漏えいに至ったとのことであった。

本日（4月26日）、当該部分の再分解を実施するとしていたことから、実施状況を確認した。

- ・現場にいた東京電力担当者によると、午前中に詳細な調査をした結果、Oリングに傷があり、滴下が発生したとのことであった。
- ・午前中にOリングを交換し、試験運転を行ったところ、漏れがないことを確認できたことから、現在は運転を開始しているとのことであった。
- ・滴下が確認された部分は、漏えい防止対策としてビニールで養生されており、袋の中に水が漏えいしていないことを確認した。（写真1）
- ・また、当該装置下部に堰があり、漏えいがないことを確認した。（写真2）



(写真1)



(写真2)

(3) 4号機タービン建屋1階における油漏えいの対応状況の確認について
 本日(4月26日)10時38分、4号機タービン建屋1階において、東京電力社員が油溜りらしきもの(2箇所)を発見したとの情報を得たことから、対応状況を確認した。

- ・現場確認時(11時50分頃)、油溜りが確認された場所には多量のオイルマットが敷かれており、ほとんどの油が回収されていることを確認した。(写真3)
- ・油溜りが確認された場所の付近には、ドラム缶が3本あったが、現場にいた東京電力担当者によると、油の発生場所は現在調査中とのことであった。(写真4)
- ・現場付近を確認したところ、油の漏えいが継続している様子は認められなかった。



(写真3-1)



(写真3-2)



(写真4)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。